

國學院大學 教職課程科目

ICT教育の理論と方法 第6回



各教科等を通して育成する情報活用能力 (総合的な探究の時間)

高等学校情報科教員 稲垣 俊介

※宿題の入力フォームは私のWebにあります。

課題

「情報モラル」の授業スライドを**PowerPoint形式**で作成してください。
もしPowerPointをお持ちではないならば、大学のPC室での作成をお願いします。
スライドのノートの部分にはそのスライドで話す内容を示して下さい。

作成するのは50分の授業ですが、**授業内で紹介できるのは7分となります**（申し訳ないのですが、発表準備を含めて7分で切らせてもらいます）。

どのように紹介すれば良いのかをよく検討し、聴衆である学生さんや私（稲垣）にわかりやすく発表にしてください。

ちなみに紹介スライドを作るのではなく、あくまで**作成するのは授業スライド**であり、かつプレゼン時には同じスライドを使います。

発表の際に利用するのは自分の端末です。私の端末はお貸してできませんので、ご自身でご準備ください。

課題

情報モラルの授業で利用する素材は**すべてPowerPointに埋め込む**ようにします。授業で配布するプリント等はWord形式で追加で提出できますが、プリントの配布は講義ではできませんので、聴衆に理解をしたもらえるための工夫も必要です。

できるだけ**全員が発表していただくつもり**でおります。ただ、発表できるのは**1講義あたりで発表できる人数に限り**があります。

もし前半で発表する学生さんが少なければ、後半は希望者が増えるかもしれません。しかし、それでも発表できる時間は増やしません。

よって、出来るだけ前半で発表をするのが良いと思いますが、自由に希望者順の発表としたいと考えます。

実際に私の高校の授業でも同じ形式なのです(このあたりは講義内でも触れることができれば触れますね。)

課題

- K-SMAPY II を通して提出です。
- 再提出可能です。再提出を含めて最終提出日は12/10(日)の21時までとなります。
- 発表日は12月18日, 12月25日, 1月15日(ここは厳しめ)となります。
- 締め切り後や他の方法での提出等は一切認めません。余裕をもって提出しましょう。

前回の課題提出より

実習A

皆さん(稲垣を含む)の意見を聴いて、
さらに思うことがあれば自由に書いてみてください。

ICTを導入することによって、教員が生徒と接する時間が触れると仰っていたのが印象に残っています。ただ単に教員の仕事が奪われると考えるのではなく、導入することによって得られる時間を生徒のために使うことができ、それによって人だからこそできる働きかけに時間を割くことができると良いなと思いました。

「学校で習っていないからできない」この言葉はとても使い勝手が良い言葉だなと思った。自分の都合の悪い時にはこの言葉を使えばもうそこから注意されなくなる。しかし、その言葉を盾にしているうちは成長できない。

(一部抜粋) 自分よりできる生徒がいたらどうするのかというのは難しい問題だなと思った。自分もわからないような難しい課題と一緒に取り組み、一緒に学び続けるしかないのかなと思った。

SNSが無料なのはなぜなのかという問いに対して、そんな優しい世界ではないかもしれないけど、世界の人々の暮らしを豊かにしたいという思いがあってそういったサービスをしているのかなと思った。

先生のSNSとの付き合い方の話を聞き、名前を出して人には言えないことはアナログにするという考えはみんながそうしてほしいなと思った。人間誰しも愚痴を言いたくなるし、それを吐き出す場所が必要だと思うのでそこを誰にもみられないアナログにすれば世界は平和になるなと思う。

返信が遅い人とは仕事をしないというお話を聴き、SNSも気遣いなんだと思った。24時間離れられないSNSでも気遣いを続けなければならぬなんて休む暇がないなと思ってしまった。

私は、国語の気持ちを記述で答える問題はあってもいいと思っています。しかし、そういった問題においてかなり解く側の推測が必要な問題があったりします。それらは良くないと思っています。小説や、古文においても感情を直接的に書くのではなく婉曲的に書かれていたりします。小学生に国語の物語文を解説していると、「こう書かれているという事はどんな気持ちだと思う?」と尋ねたりします。そしてその答えを自分で言語化してもらいます。文字から感情を読み取ったり、気持ちを文字化するというのを練習していると活かせる機会があるのではないかなと思っています。

部活に対する熱量の話ですが、私はダンス部に所属していて、一つの大きな目標がありそれを成功させるために同学年が一致団結して熱量の差もあまり感じずやっていました。しかしこれは私の意見であり他の人がどう感じていたかはわかりません。更に、部活全体となると不可能なのだろうなと思いました。

先生というのは、全部の見本では無いということを知り、人間臭さを忘れてはならないと思いました。

全ての生徒から好かれる必要は無理なため、気にしすぎる必要がないと聞いて安心しました。

SNSに対して、本当にすべて教師が教えるべきかというのは考え直さなければいけないと思いました。しかし、家庭によってはそこまで教育が行き届かない家庭もあるため、そこは今後の日本の課題かとも思いました。

私はChatGPTの使い方まで学校で学ばせる必要はないと考えます。もちろん社会的に使う機会は増えるし、活用できるスキルがあると便利であるのはわかるのですが、文章を推敲する能力や、自分の考えていることを的確に表すための言葉の知識など、AIがあるからと軽視していいものなのだろうかと感じてしまうからです。ChatGPTを情報収集における一つの手段として紹介することは必要であると思っています。

またギフテッドタイプの子がクラスにいたときには何を教えるかという質問にはどきりとしてしまいました。私は社会科が専門ですが、現段階で考えるとしたら他教科との関連や現代との関連など、まだ社会もが持っていない視点を一緒に探せるようにしたいと思いました。

(一部抜粋) 自分は生徒に好かれる先生になりたいと思っているが、無理に好かれようとする必要はないとおっしゃられていて、確かにそんなことばかり考えていたらストレスが溜まってしまい仕事にならないなと感じた。

ちなみに自分はメールの返信をAIに作らせるのには賛成で、自分で作って相手に失礼になってしまうよりかは、ちゃんとした文章を作ってくれる方が断然いいと思う。

昔あるアプリがそうであった気がするが、SNSなどでメッセージ送る(投稿する)前に、「本当にこのメッセージを送りますか?」というような確認をしなければいけない社会になってきているのかな、というようにも思った。

(一部抜粋) 個人的には、国語の作者の気持ちを問われているのではなく、作者がその文章を書いた意図を汲み取るものだと思っています。この文章のストーリーの流れから出来事→気持ち→反応を結びつけられるかが問われており、関連性を答えられるか(登場人物の気持ちを読み取るのではなく、自分の気持ちだけで勝手に解釈や想像を付け加えて答えていないか)が大切なのだと思っていました。これはコミュニケーションにおいて相手がどう思うかという視点にも繋がってくると思っています。

欧米と日本の教師の違いについて、イギリスのドラマ(call the midwife)と日本のドラマ(3年B組金八先生)を見ていてよく分かった。「3年B組金八先生」では生徒が一晩、ひどければ数時間いなくなっただけで夜通し走り回り、必ず見つけ出す。一方、イギリスのドラマでは数か月学校に来ていないにもかかわらず、家に確認もしない。拳句の果て、校医が居場所を尋ねると「数か月来ないからどっかに引っ越したかと思ったわ、まだいるのね」だ。生活のすべてを学校に捧げ、家庭の域まで進出しすぎている日本と無関心すぎて子どもの安否すら興味のないイギリスでは極端すぎてドラマの域からでない。しかし、イギリスのドラマの先生にはこんな無頓着な先生がいるのかと驚いたが、金八先生にはお節介な先生とだけ思っただけで違和感を覚えなかったため、先生が家庭の領域まで進出することは日本の伝統にすらなっていると感じた。

海外ではお金の使い方（投資やローンの仕組みなど）を学ぶ授業があると聞いたことがあったり、日本の学校での性教育を見直すような話題を見たことがあったり、先生の言う通りICTやAIなどを学校でどこまで教えるべきなのかはとても難しいと思った。義務教育のいいところの一つは、皆が同じ知識をつけることができるところだと思うが、高校では個々の学校の特色として力を入れているものがあるのもよいと思う。家庭での学びは個人差があることが危惧されるが、学校側がそこまで考えてしまっはきりが無いなども話を聞いていて感じた。

実習Ⅰ

遠隔合同授業で教師が意識することとして考えられることを書いてください。

生徒の取り組み、学ぶ姿勢などを教室にいるのと同様に把握、管理すべきだと思う。(きっと私の当時の高校の先生はそんなこと考えていなかったでしょうが。)

生徒の表情や反応を通常形態の授業よりも認識しづらい形式であると思うので、特に意識して生徒のそれを感じ取ることが求められるのではないかと考えました。

実習3

遠隔授業のデメリットは何でしょうか？
そのデメリットをどうやって克服しますか？

対面じゃないため視覚や聴覚から得られる情報が少なく1人1人の変化に気づきにくい。

理解度などの差が生まれていても分かりにくいのかなと。

対面よりも参加している実感が無い。学校の良さがなくなっているような気がした。

教師側が授業をするのに必死になってなぜ子ども達が参加しきれずに飽きているか理解していないから授業としての意味をほとんどなさない事。

⇒生徒はYouTubeやテレビを見るように普段の授業を受けている状態だとすれば、その時点で授業が自分で動画を選べず、早送りもできない長尺の動画を見せられているようなものであることを教師が理解し、これもまた遠隔の中にクラスメイトや教師とのつながりを感じさせることが求められる。

実習4

この授業で学んだことを「深く」考えて書きましょう。

コロナウイルスの影響で大きく広まったオンライン授業ですが、もしコロナウイルスが発生しなければこんなに早くオンライン授業は取り入れなかったのだらうと思います。オンライン授業が生む弊害はありますが、教育不足や生徒の減少の対策にもなり、就職活動も今やオンラインで行う企業も増え、全国どこからでも繋がれる良い点があると思います。コロナウイルスが流行ってよかったとは全く思いませんが、このようにオンライン授業が浸透化したのはよかったなと思いました。

学生コーチのことが授業で触れられていたが、熱量の統一はできると思う。しかし、これはあくまで強豪校であることを前提であるため、稲垣先生が勤めていらっしゃる高校ではできないと思う。(上から目線ですみません)私が中学生のとき、全国大会に出場できるほど強い部活に所属していた。その際に、「全国制覇」を目標に日々練習に取り組んでいた。その時の私はその目標に向かって高い熱量をもって取り組んでいたが、正直なところ周りからの同調圧力もあったと思う。熱量の統一には先生やコーチの力はもちろん生徒の力も大事ではないかと私は思う。

コロナウイルスの影響で大きく広まったオンライン授業ですが、もしコロナウイルスが発生しなければこんなに早くオンライン授業は取り入れなかったのだらうと思います。オンライン授業が生む弊害はありますが、教育不足や生徒の減少の対策にもなり、就職活動も今やオンラインで行う企業も増え、全国どこからでも繋がれる良い点があると思います。コロナウイルスが流行ってよかったとは全く思いませんが、このようにオンライン授業が浸透化したのはよかったなと思いました。

私は中高の国語科の免許を取得しようとしているのですが、記述式にはあまり肯定的ではないです。ただ、「作者の気持ち」の問題についても、他の国語科の試験問題についても、書いてある情報から一般的、普遍的な考え、情報、推測ができる程度の読み取りができる能力を測るものだと考えています。記述には、少なからず自分の考えが反映されるものであり、それは試験問題としての国語科ではかっていいものではないような気がするからです。作品を作者から借りているにも関わらず、作者の意図とは違う広まり方をしてしまう可能性があるという点では選択式の心情を問うものはどうなのだろうかと思うこともありますが、特にインターネットでの語彙力、読み取りの力が問われる現代では情報を確実に読み取る力をつけるという点で国語科は教えられ続けると思っています。

先生のSNSとの付き合い方をみんなが真似すれば、もっと優しい世の中になるのではないかと思った。人間誰しも何かを吐き出したくなることもあると思うが、それを誰かに見られるところではなく、絶対に誰にも見られないところにはきだしてくれれば誰も傷つかないのになと思う。

返信がまめな人が好かれるというのには私も納得できるなと思った。好かれる人はこういったところでも努力していて抜かりないなと思った。

私は今大学2年生でコロナ禍に高校生をやっていましたが、高校がほんとうにICTに対応していなかったのもので、オンライン授業はあまりなく動画を見るだけだったのでほぼサボってしまいました。確実に動画だけではだめなのだと実感しました。

高校の時にコロナでオンデマンド授業になり、正直全然楽しくないし、対面よりもわかりづらかったです。実際に体験した身として生かしていく必要があると思いました。オンデマンドの強みが生きるような授業展開にしていくのか、限りなく対面授業に近いものを展開できるようにするのか、うまくブレンドしながらどのようなオンデマンド授業にしていくかはしっかり考える必要があると思いました。オンデマンドだからこそ意見を伝えられる生徒もいると思うので、長所も生かしていきたいと思いました。変化をすることはわかっているのでできないという選択肢はないと思うので、しっかり準備をしていきたいと思います。

(一部抜粋) 遠隔授業が主流になると、顔出し義務にしているときに勝手にその画面をスクショしたりする人が現れると問題になるなと感じました。

ただこの問題は、対面でもこっそり盗撮することは可能ですし遠隔に限った問題ではない気がします。また、ズームでもスクショを不可能にする機能が登場するのか、はたまたもう実装されているのか気になりました。

オンライン授業は大学でもあるが、正直言って対面の方がいいと思っている。理由は、自分がサボらず授業を受けられるし、分からないことがあれば返信を待たずすぐに聞けるからです。でも教師の立場となったらオンライン授業と対面授業どちらをやりたいかと言われればオンライン授業を選ぶと思う。

高校の時に遠隔授業を初めてやったのですが、当時は新鮮でよくわからなかったという印象が大きかったです。しかし、何回もやっていくと慣れていきわざわざ行かなくてもできるというメリットもあることに気づきました。

もちろんデメリットもありますが、そこばかりを見るのではなく、メリットを重視した方がいいと思います。

実習A

皆さん（稲垣を含む）の意見を聴いて、さらに
思うことがあれば自由に書いてみてください。

皆さんの発表

講義

各教科等を通して育成する情報活用能力
(総合的な探究の時間)

講義のカリキュラム

1. 「探究」とは
2. 学校で養われる探究
3. 探究を支えるリテラシー

1. 「探究」とは



藤井聡太
史上最年少
17歳11か月で将棋
タイトルを初獲得

東京新聞
2020年7月17日

実習Ⅰ

最近、自分が「探究」した活動は何かありますか？人に紹介するつもりで書きましょう。

物事の真の姿を探って見きわめること

広辞苑 第七版

VUCA

Volatility Uncertainty Complexity Ambiguity

OECD (2018)

探究

2. 学校で養われる探究

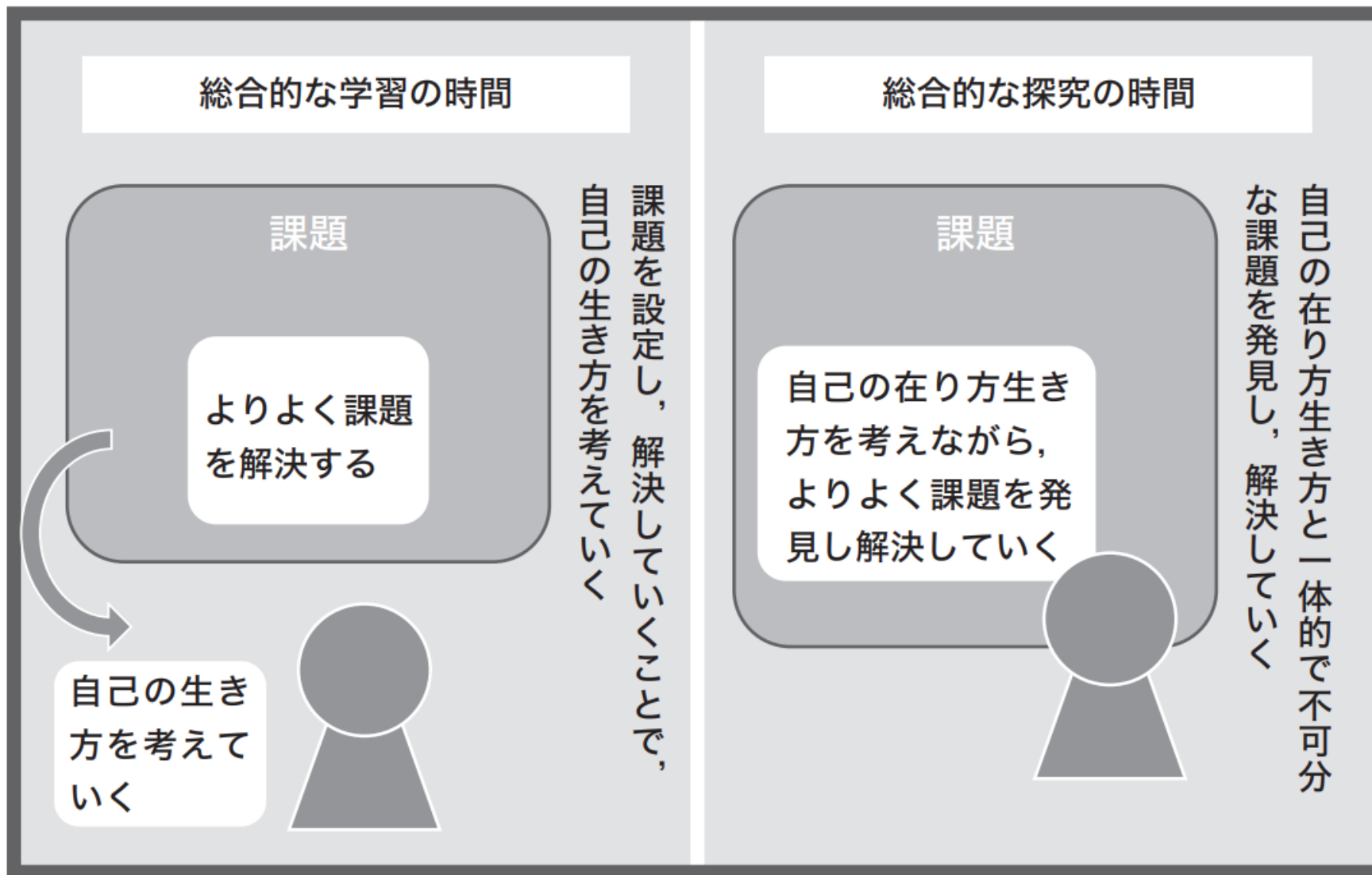
前項の場合においては、生涯にわたり学習する基盤が
培われるよう、基礎的な知識及び技能を習得させると
ともに、これらを活用して課題を解決するために必要
な思考力、判断力、表現力その他の能力をはぐくみ、
主体的に学習に取り組む態度を養うことに、特に意を
用いなければならない。

学校基本法 第三十条②(1947)

習得・活用・探究

PBL

課題と生徒との関係 (イメージ)



実習2

探究を実施していくために必要なリテラシーとはどのようなものがありそうですか？

調べるのではなく、あなたの考えを書きましょう。

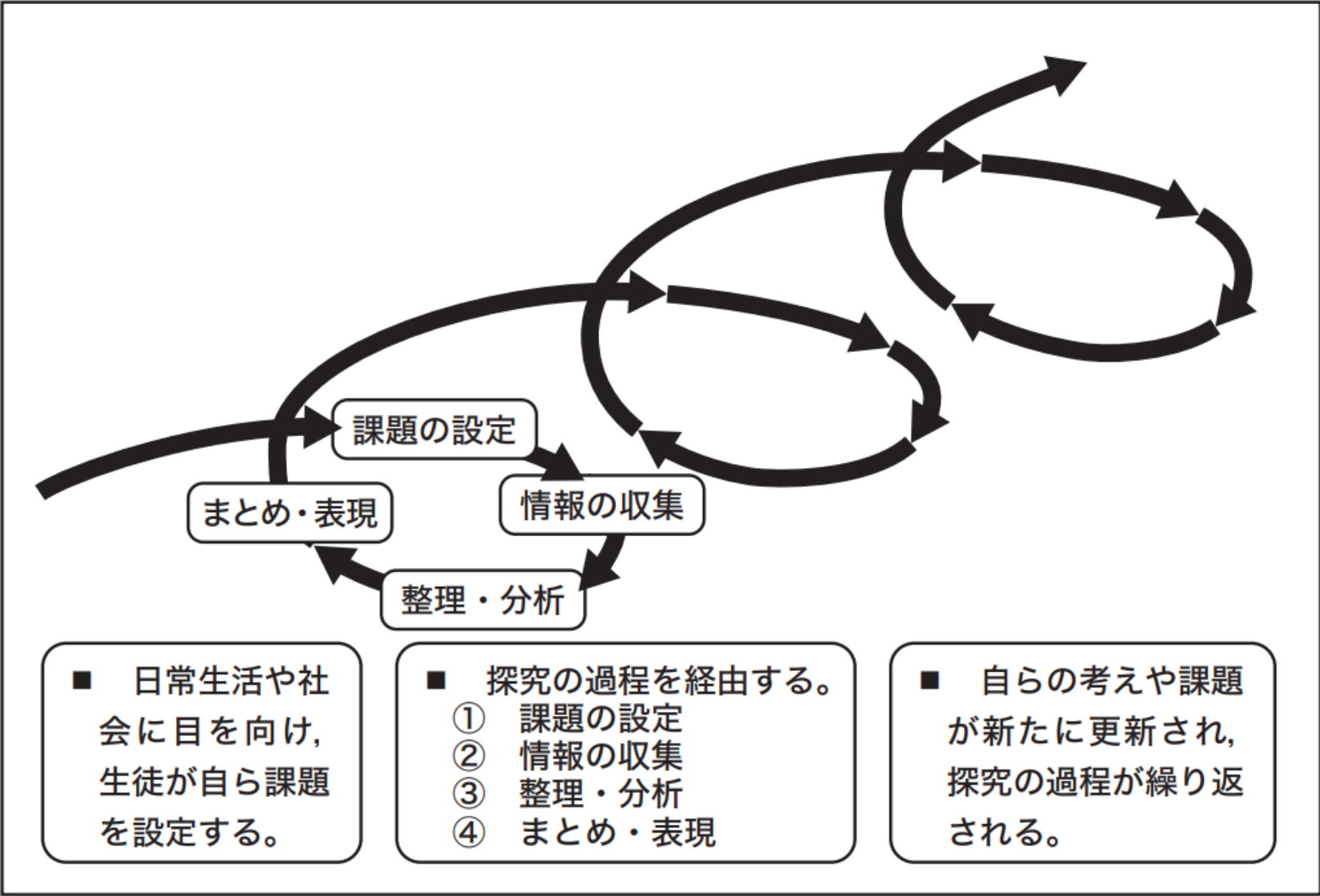
3. 探究を支えるリテラシー

1.情報活用能力

2.言語能力

3.問題発見・解決能力

探究における生徒の学習の姿



課題の設定

情報の収集

整理・分析

まとめ・表現

実習3

自分の教科において「探究」をどのようにとり
いれますか？具体的な事例を入れつつ、ICTと
関連させてくださいね。

まとめ

好きなこととに夢中で取り組んできたというのが、ここまでつながったのかな、という風に感じているので、好きなことに全力で取り組むということを大切にしてほしいな、という風に思います。

藤井聡太さんへのインタビュー ヤフーニュース (2020/7/19)

